

● 交通ICカードの主な仕様

分類	仕様	導入が想定されるカード	主な特徴	観光客等の利便性	主なチャージ場所	市独自サービス対応	維持管理・運用面
既存カードの活用	10カード（相互利用）への参加	nimoca	・西鉄が導入している10カードで、路線バスに強い ・他地域でもエリア拡大を図っているため、自社が運行する福岡県以外でも、大分県、佐賀県、熊本県、宮崎県など九州地区のほか、函館市でも導入されている	・国内外の観光客等が市内路線バスを利用する際にシームレスで利用可能	コンビニ 商業施設等 銀行 バス車内 交通事業者窓口 等	初期設定での対応	・既存カードへの参画となるため、運用面ではバス事業者の負担は低くなる ・路線バスへの導入実績が多数あり、円滑な運用が期待できる
		ICOCA	・JR西日本が導入している10カード ・現時点では路線バスに対応していないが、JR境線で車載器が導入されることを機に、対応可能になると思われる	〃	コンビニ 商業施設 交通事業者窓口 等	〃	・既存カードへの参画となるため、運用面ではバス事業者の負担は低くなる ・路線バスへの導入実績がないため、トラブル等への対応に不安が残る
	10カードと互換性のある規格（片利用）への参加	PASPY	・広島電鉄等が導入しているカード ・10カードとの片利用が可能	〃	銀行 バス車内 交通事業者窓口 等	〃	・既存カードへの参画となるため、運用面ではバス事業者の負担は低くなる ・路線バスへの導入実績が多数あり、円滑な運用が期待できる
独自カードの作成	10カードと互換性のないカード	独自カードのため想定なし	・既存規格とは別の独自規格であり、仕様をゼロから設定する。また、10カードとの互換性を持たせることは極めて困難 ・いわゆる「地域カード」に該当するのはこの仕様のみ	10カードとの互換性がない場合、利便性は高くない	合意形成があればどこにでも設置可能だが、全国展開している商業施設等は設置困難と思われる	初期設定だけでなく軽微な変更も可能	・資金決済法に基づき、運営会社の設立を要する ・総じて維持管理費や運用面でバス事業者の負担が大きくなる